

わたしたちの暮らしはすべて世界につながっている



「環境破壊や経済格差の拡大に
加担したいと思っている消費者はいない
でも、知らなければ、想像することもできない」

…だから 「商品の一生を知ろう」

衣類の一生



ファッション産業は世界第二位の環境汚染産業

(2019年、UNCTAD(国連貿易開発会議))



<https://sdgs-support.or.jp/journal/fashion-kankyo/>

衣類の製造段階の環境負荷

原材料調達段階の環境負荷

天然繊維の環境負荷（コットンなど）



栽培時の水消費
化学肥料による土壌汚染など

合成繊維の環境負荷（ポリエステルなど）



石油資源の使用
工場でのCO₂排出など



原材料調達から製造段階までに排出される環境負荷の総量（年間）



※製造段階とは、紡績・染色・裁断・縫製・輸送を指します



枯葉剤を使ったコットン畑

写真:日本オーガニックコットン協会

出典:環境省サステナブル・ファッションサイト
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

衣類の製造段階の環境負荷



温室効果ガス排出量



環境
登録

出典: 環境省サステナブル・ファッションサイト
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

Bangladesh の縫製工場の事故 / 南米 チリの古着の



2013年 Bangladesh 「ラナ・プラザ」の崩落事故
死者1,127人、行方不明者約500人、負傷者2,500人以上
犠牲者の多くはファッションブランドの縫製工場で働く若い女性たちだった

写真：ゲッティイメージズ



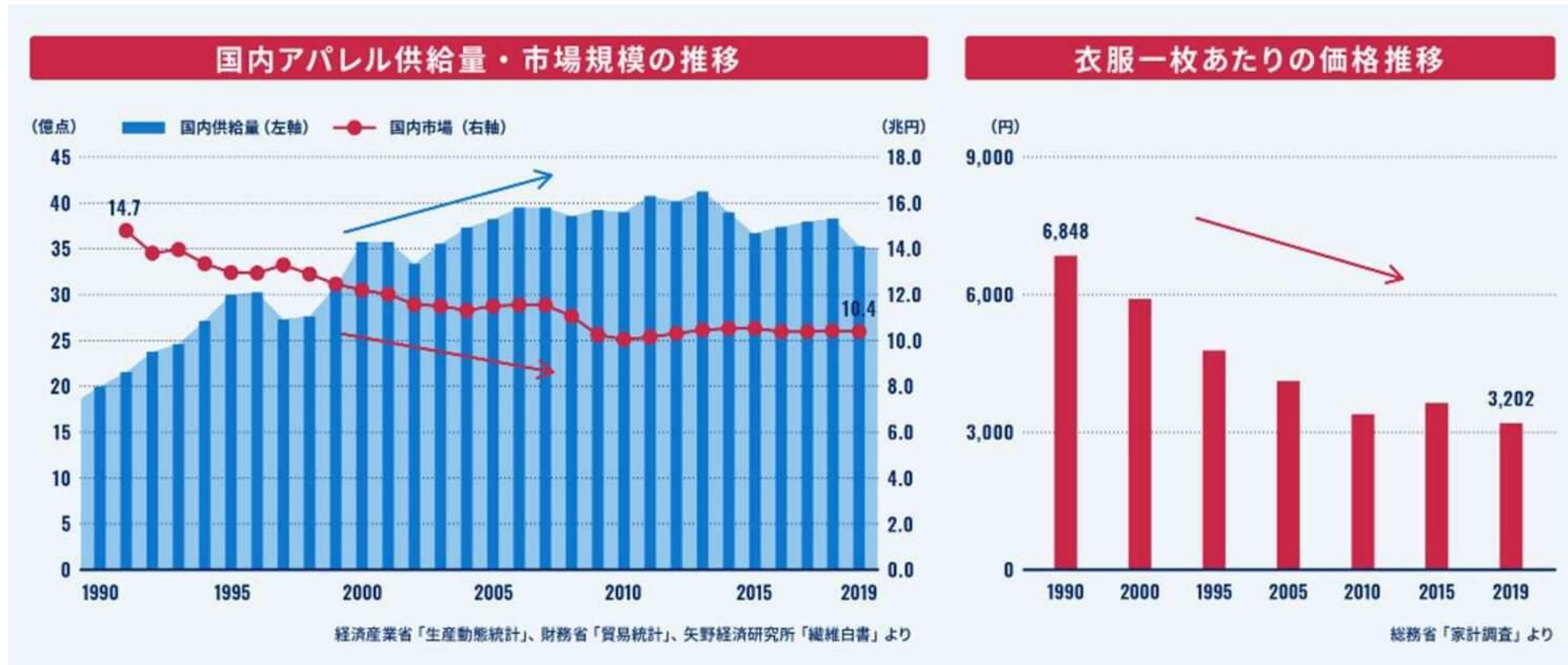
写真：読売新聞社

大量生産・大量消費のビジネスモデル

出典:環境省サステナブル・ファッションサイト
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

<衣類・ファッション>

日本では毎年1人平均18枚購入して15枚手放している



衣類の廃棄段階の環境負荷

出典:環境省サステナブル・ファッションサイト
https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/



衣類で温室効果ガスを減らすには？



衣類で環境負荷を減らすには？



古着回収&再資源化

メルカリ？ エアクロ？ 古着ショップ？

フリーマーケット？ お直し、リメイク、おさがり文化

【参考1】 グリーンコンシューマー10原則

- ① 必要なものを必要な量だけ買う
- ② 使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
- ③ 包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
- ④ 作る時、使う時、捨てる時、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
- ⑤ 化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
- ⑥ 自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
- ⑦ 近くで生産・製造されたものを選ぶ
- ⑧ 作る人に公正な配分が保障されるものを選ぶ
- ⑨ リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
- ⑩ 環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ

出典：グリーンコンシューマー全国ネットワーク作成、1999